

令和7年度 第1回長野市連携中枢都市圏ビジョン懇談会 要旨

日 時 令和7年7月29日（火）15:00～16:20

場 所 長野市役所第一庁舎5階 庁議室

出席者 別紙名簿のとおり

資料1 次期長野地域スクラムビジョンの策定について

資料2 長野地域連携中枢都市圏 進捗状況報告書 2024（令和6）年度 概要版

1 開会（臼井企画政策部長）

2 あいさつ（西澤副市長）

3 懇談

(1)次期長野地域スクラムビジョンの策定について

○事務局

資料1、2について説明

(3) 意見交換

○委員

令和9年4月に善光寺の御開帳、その後、JRのデスティネーションキャンペーンも控えている。そういったイベントを踏まえて、観光の広域連携や、圏域外へのPRといった情報発信に取り組んでもらいたい。また、長野商工会議所では産業フェア in 信州を開催し、人やモノの交流を図る取り組みも行っており、産業についても連携しながら進めてもらいたい。

○委員

圏域を超えた集客力を持つ施設である、イオンモール須坂が今年の9月に開業する。商工会議所や上信越ふるさと街道協議会を通じて、地元のPRの場として働きかけており、イオンモール須坂からも積極的に受け入れてもらっている。須坂商工会議所では、イオンモール須坂を生かした、地元のPR等を橋渡しする仕組みづくりをしており、軌道に乗せていきたい。

○委員

次期ビジョンの取組を戦略的に実施することは、メリハリが付き非常に良いことであると考えている。坂城町では、3年に1度、ものづくり展を開催し、町内事業所の製品や部品を一般公開しており、今年の本展示会の開催を予定している。また、町内工場での製造過程を知ってもらうため、町内の小学校5年生と中学校2年生を中心に、工場を見学するオープンファクトリーを実施する。産業展等は圏域の中でも実施されており、人材育成にも繋がるため、情報交換をしながら実施していきたいと考えている。

○委員

人口減少や中山間地の農業者の高齢化は真剣な問題として認識している。高齢者を対象に、収益の取れるピーマンを栽培してもらい、個別ではなく機械でまとめて選果することで、山間地の農業を支えている。農業者の減少も非常に深刻な問題として捉えて

おり、様々な分野や方面からアイデアをもらう中で、魅力を持たせることができるように進めていきたい。

○委員

次期ビジョン策定について、行政の施策であるため網羅性は非常に重要だが、ヒト・モノ・カネに限られている中で、優先順位をつけることは必要であると考えているため、戦略的に優先順位を付けて施策実行してもらいたい。また、人口減少は課題ではあるが、人材確保と併せて、生産性向上も進めなくてはならない。地方創生2.0でも、国は付加価値に焦点を当てており、IT・DXや省力化投資を含めた、生産性向上による付加価値向上という視点で考えながら、次期ビジョンを策定してもらいたい。

○委員

重複するが、事業に濃淡をつけるとは非常に良い方針である。また、KPIについても、事業のKPIを参考指標に変更するというのは、真に実効性のある事業推進にする意味で非常に良い形であると考えている。また、長野地域の9市町村が連携して事業を推進していることがほとんど認知されていない。9市町村で何ができるか考えるというのは、大学が非常に得意とするテーマであると感じており、関係機関に対しても、認知を浸透させるというのは非常に重要であると考えている。また職員や自治体の連携を強めるという意味でも、分かりやすい愛称を設定し、連携していることを伝えることは、今後考えるべきではないか。

大学・高等教育機関との関わりという点で、大学として、9市町村のデータが使えることで、データ分析を行い提言に繋げることも多く出てくると考えられるため、オープンデータやDXは是非進めてもらいたい。

提案になるが、次期ビジョン策定に向けて事業を考える段階で、大学も参画し、アイデア等を共有しながら、一緒に事業を作ることもモデル的にできるのではないかと考えているので、検討してもらいたい。

次期ビジョン策定の基本的視点の中で、広域連合との情報共有等について記載があったが、広域連合について説明してもらいたい。

○事務局

広域連合は、連携中枢都市圏と同じ9市町村で構成され、各市町村から代表の議員が集まり構成される議会も存在し、各市町村からの負担金で事業を実施している。事業については、ゴミ関連、高齢者施設、スポーツ振興等がある。

○委員

先日、千曲市で9市町村の食材を集めたスープが販売されていた。9市町村で1つのものを作るというのは見せ方として、非常に効果的と感じたため、連携中枢都市圏の取組の参考としてもらいたい。

○委員

重点取組における人材確保関連について、人材育成、採用及び研修とあるが、特に重要視しているものはあるか。また、研修については、職員の学位授与なのか、公開講座への参加といったものなのか、具体的に聞きたい。

○事務局

人材確保関連については、市町村職員採用の強化として共同採用を望む意見が多い。職員の研修については、DXや公共施設マネジメント等の共通のテーマについて研修を共同実施するものである。また、人材育成においては市町村職員に限らず、農業の新たな担い手づくりといったものを検討するものである。

○委員

民間企業では、大学と共同研究を行うことで、学生と企業が密接につながり、大企業でなくとも就職していく学生は多いが、インターンシップは行っているのか。

○事務局

長野市においては、地元の大学や、長野市出身の首都圏の大学から多くの学生が参加しており、大学においてもインターンシップ制度は定着していることから、地元企業や周辺自治体においても、同様の傾向があるのではないかと考えている。

○委員

スポーツに関わる人口も減少する中で、地域密着型プロスポーツチーム応援バス事業といった、地域の盛り上がりは非常に良い取組であると考えている。スポーツは参加するだけでなく、応援する事業についても進めてもらいたい。部活動の地域移行については、圏域内で子どもの取り合いにならないようにすることや、指導者の問題について考えながら進めてもらいたい。また、DXにおいては、AIについても検討してもらいたい。

○委員

圏域の愛称については、連携事業として位置付けて長野地域の魅力を全面に出してもらいたい。また、長野市で青少年の合同研修会やリーダー講習会、交流会等を可能なら実施してもらいたい。

○委員

母親達と話している中で、相談する場所や気軽に行ける場所が欲しいという意見をよく聞く。圏域内で互いに気軽に遊びに行ける環境があれば、広域で子育てがしやすいという実感が得られやすいのではないかと。また、子育て世代の経済的な負担について、坂城町ではベビーシッターに掛かる費用の半分を支援する事業が始まったが、ベビーシッターの事業所が少なく、周辺自治体であってもベビーシッターの事業所が増えてもらいたい。こうしたことを含め、次期ビジョン策定に向けて子育てという視点でも検討してもらいたい。

○委員

今後は観光・インバウンド・移住の取組が必要であると感じている。高山村では、外国人の受け入れについて公共交通の便の問題が出ている。観光客等の交通について広域でも対策について検討してもらいたい。また、地域文化についても人材が不足しているが、移住者や移住まではしていないがサポーターとして、地域と一緒に活動している人について耳にする。移住者やボランティアとしての参加者が一緒に地域を盛り上げていくことについても、非常に重要であると考えている。

○委員

脱炭素関連については、須坂市や高山村の民有林や団体林を取りまとめ、Jクレジット

トの認証を実施しており、11月から販売を予定しているため、地域の森林資源が脱炭素社会に貢献できるのではないかと期待している。バイオマス利用の観点からは、県で皆伐再造林を進めており、そこで出た大量の枝をバイオマス発電所の資源材として活用する仕組みについて現在構築している。また、地元企業と連携し、地元企業で枝を細かく砕き、塩尻のバイオマス発電所に運ぶ流通経路が6月に完成し、地域森林資源の有効活用の大きな一手になるのではないかと期待している。

人材確保関連としては、フォレストワーカー支援制度により、令和3年から令和6年までに18名の採用につながっており、今年度も1名採用している。採用数のうち9名が圏域外から移住しており、圏域の人口増にも寄与している。また、中山間地は人口減少や高齢者化により非常に厳しい状況にあるが、移住に繋げるための交通インフラ等の整備が進むと良いのではないかと期待している。

○委員

県の移住イベントに参加したことがあるが、長野県は広く、対象者がぼやけてしまうため、圏域で移住の取組を行うのは非常に良いと感じている。また、移住体験住宅が無料宿泊施設として使われてしまうケースが多い。今年は移住体験住宅の利用を3泊までと制限したところ、本当に移住を検討している方からは、それでは体験にならないと利用が減少しており、有料化についても悩んでいる。そこで提案として、移住体験をふるさと納税の共通返礼品とすることができればよいのではないかと期待している。移住定住促進事業のKPIとしても、実際に移住体験に進んでいるため、数値を取りやすいのではないかと期待している。防災については連携して取り組んでいるものはあるのか。

○事務局

防災については、圏域全体の生活関連機能サービスの向上の分野の中に、災害対策という取組区分があり、その中で災害対策のための相互協力事業を実施している。

○西澤座長

本日いただいた意見を次期ビジョンの具体的な取組につなげていきたい。

4 閉会

以上